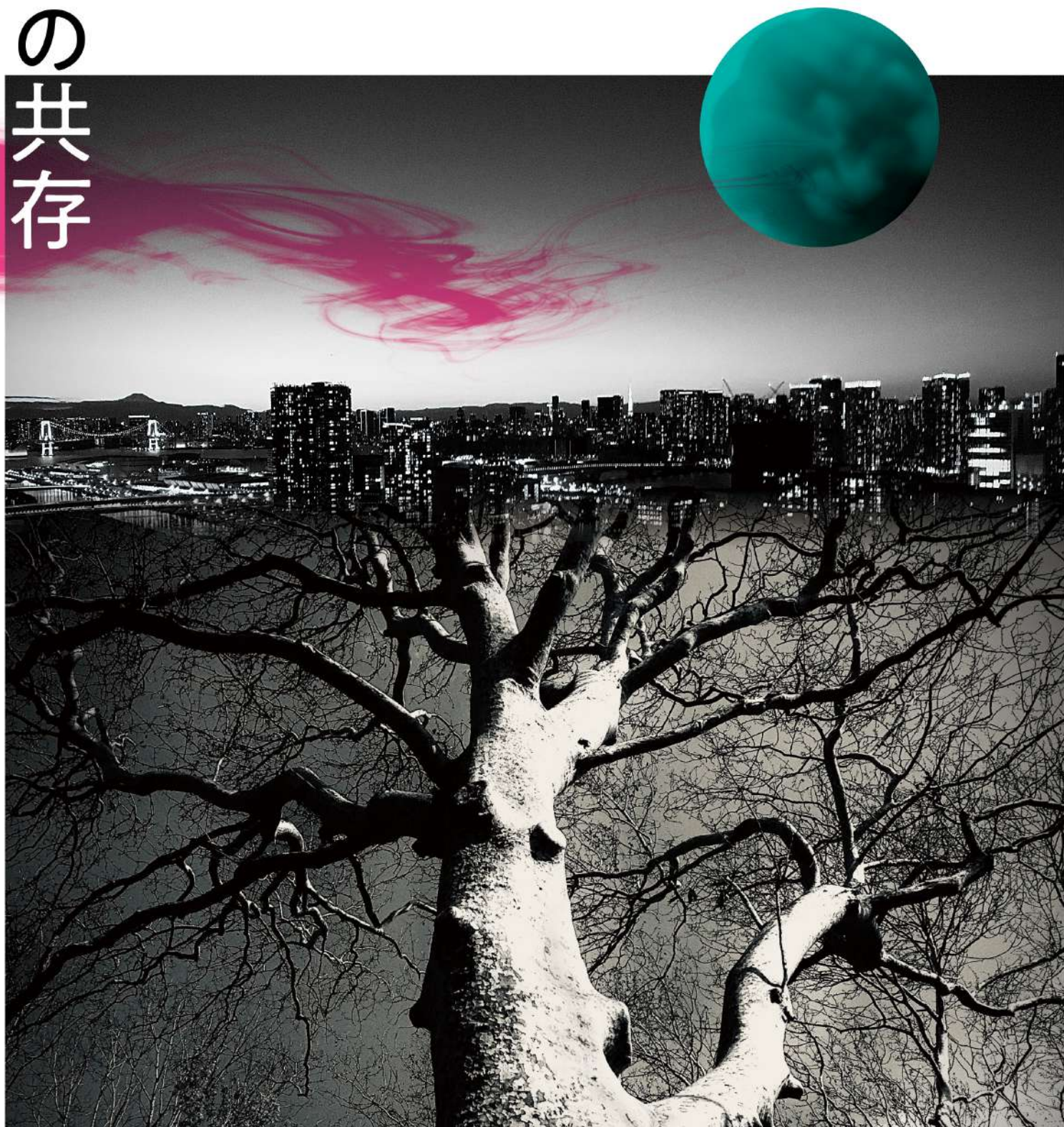


吸血鬼との共存

作・演出 波田野 淳紘

神奈川県立青少年センター・スタジオ HIKARI
2021年10月21日(木)・22日(金) 3 stages
[配信日程] 2021年11月12日(金)～12月3日(金)



劇団820製作所 第16回本公演
マグカルシアター参加

劇団 820 製作所 第 16 回本公演 | マグカルシアター参加

吸血鬼との共存

加藤 好昭

亀尾 建史 (森ノ音)

(以上、劇団 820 製作所)

朝廣 亮二

江花 実里 (架空豊)

大谷 由梨佳

大瀧 楓

大畑 麻衣子 (miez mierz)

佐々木 覚

清水 凱

馬場 玲乃

真宮 立佳

御法川 わちこ (ヒカル)

作・演出 波田野 淳祐

舞台監督 櫻岡 史行

照明 みなみあかり (ACoRD)

照明操作 今西 理恵

音響 齋藤 瑠美子

音楽 itsuki

美術協力 三波 真夏

宣伝美術 来住 真太

舞台写真 bozzo

制作 薄田 菜々子

企画・製作 劇団 820 製作所

主催 神奈川県、劇団 820 製作所

文化庁「ARTS for the future!」補助対象事業



= Note =

夏。死者たちがやってきた。

人々はうろたえた。そのようなことが起こり得るとは予測のしがたいことだった。

伴博史の娘、アヤの恋人は数年前に死んでいた。その恋人がアヤのもとを訪れて、部屋の窓を叩いたのは盛夏の夜。彼女は震える手で死者の手をとった。驚くべきことだったが、死者は言葉を理解し、また何事かを口にすのだった。

「何が起こったか、覚えていない。自分がどこにいたのかわからない」。それきり黙った。

アヤは辛抱強く恋人との対話を続けた。雪の舞う頃、二人はいなくなった。奥飛騨の林道でアヤの乗り捨てた乗用車が発見されるが、その行方は杳として知れず、やがて同様の、死者とともに姿を消す生者たちの事例が頻発した。死者に導かれたのではないか。さらなる動揺が社会に走った。死者の排斥がはじまった。

人々は死者を嫌悪し、忌避し、隔離し、辺縁に押しやり、監視した。運動は各地に広がり、死者をかばう者たちを糾弾する行進がおこなわれた。弔いに関する新たな法整備が求められた。政府はいままお混乱していた。死をめぐる数字ならまだしも、死の内実に関しては、寺社仏閣と教会の領域だった。



祈りの仕方も、わすれてしまった？

【公演日程】

2021年10月21日(木)・22日(金)

21日(木) 13:30 / 17:30

22日(金) 15:00

※受付開始は開演時間の45分前、開場は30分前です。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※開演時間を過ぎますと入場をお待ちいただく場合がございます。

【配信日程】

2021年11月12日(金)～12月3日(金) 予定

※配信チケット販売期間は「2021年11月1日(月)～11月30日(火)」を予定しています。

※配信期間中、一度のご購入で何度でもご視聴いただけます。

【チケット】

【劇場公演】一般 3,000円 高校生以下 500円

【オンライン配信】配信チケット 2,000円

※「高校生以下」券をご利用の方は、受付に確認できるものをお持ちください。

※劇場公演におきましては感染症対策のため、客席数を大幅に制限しております。お早めのご予約をお願いいたします。

【取扱い・お問い合わせ】

劇団 820 製作所

【WEB】<http://820-haniwa.com/> (予約フォームあり)

【MAIL】info@820-haniwa.com

【会場】

神奈川県立青少年センター・スタジオ HIKARI

神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘9-1

○JR・横浜市営地下鉄線

「桜木町駅」より
徒歩約10分

○京急線「日ノ出町駅」
より徒歩約13分



【新型コロナウイルス感染症対策】

- ・ご観劇の際は、常時マスクの着用をお願いいたします。
- ・会場入口において、検温、手指の消毒にご協力ください。37.5℃以上の発熱のある場合は、ご入場いただけませんのでご了承ください。
- ・その他、感染症対策の詳細につきましては、劇団ホームページをご覧ください。

【劇団 820 製作所】

2004年に旗揚げ。読み方は「はにわせいさくしょ」。

東京圏を活動の拠点として、演劇の公演を重ねる。キャッチフレーズは「本当はそこにあるおとぎ話」。社会的事象から個人のほそやかな祈りまで、目に見えない場所に生起する感情や物語を丁寧にすくいあげる。

<http://820-haniwa.com/>

